

西村 和子選

井上 康明選

片山由美子選

小川 軽舟選

虚栗踏むもゆる里風ばかり

東京 福岡 照子

〈評〉「虚栗」とは美無し栗のことで踏んでも殻が割れるばかり。知る人もいなくなった故郷のむなしさを象徴している。

身にじむや膝は笑うし指眺ねる

桜川市 海老原順子

〈評〉我が身の衰えを嘆きながらユーモアの余裕あり。下五はバネ指のことだろう。

卓袱台に喝采受くる木の実独桑

奈良市 清水 宏

田仕舞の野良着に残る日の匂ひ

藤枝市 山村 昌宏

自転車のわれに続けと赤とんぼ

東京 高木 靖之

きのふとは違ふ響きや紅葉川

北名古屋市 月城 龍二

抽斗に覆服を仕舞ふ夜寒かな

湖西市 宮司 孝男

菊の香や反り美しき日本刀

長野市 池田 典隆

初秋の風を纏ひて退院す

清瀬市 橋本 武志

傍らに妻の寝息や寝待月

東村山市 出田 邦山

懐にものものふの墓山粧ふ

平塚市 日下 光代

〈評〉山のももに、その地で活躍した武将の墓があるのだろう。紅葉に色づく山の姿に、かつての時代絵巻が一瞬よみがえる。

喪の家の庭の金木犀香る

奈良市 上田 秋霜

〈評〉不幸のあった家は喪に服して、今は人の出入りもない。庭のキンモクセイが強い香りを放つ。銀漢や谷村新司旅立ちし

園児らの歌声ひびく刈田かな

甲府市 清水 輝子

散り敷けばそこに大輪金木犀

小田原市 林 梢

秋深し秋深し人歩かしむ

唐津市 梶山 守

去年より低し母屋の柿簾

堺市 いわちかて

その昔高野嶺なり霧襖

和歌山 馬谷富貴子

母の夜なべ南部半追唄聞こめ

尼崎市 森下久美子

朝寒や軍手干さるる町工場

倉敷市 中路 修平

診察を待つ間の長し秋扇

芦屋市 井上 作子

〈評〉楽しい時間はすぐに過ぎるが、待っているだけだと時間が止まってしまったかのように感じる。秋扇が手持ち無沙汰を象徴。紅茶からはじまる朝や涼新た

紅茶からはじまる朝や涼新た

芦屋市 井上 竜太

〈評〉温かい紅茶がおいしいと思ふときに秋の到来を感じたのだろう。おしゃれな一日の始まり。昨日から庭隅に居る穴まご

横浜市 菅沼 葉二

数合はぬ葉の残り秋時雨

白杆市 村上 玲子

秋澄むや始業のチャイム風にのり

岐阜市 透 乙美

田仕舞の煙の匂ふ野良着かな

神戸市 常澤 優子

ライオンのうつらうつらと園小春

浜松市 野畑 明子

秋空へ駅の透明エレベーター

那須塩原市 谷口 弘

ポケットに入れたつばなしの木の実かな

川口市 高橋さだ子

フィヨルドの水深知れず秋の雲

小平市 中澤 清

傘持ては山下清花野ゆへ

東京 吉田 柳哲

〈評〉放浪の貼り絵画家・山下清の生き方に共感する作者なのだろう。放浪は無理でも今だけは山下清の気分を味わう。秋潮や沖に在す神の岩

秋潮や沖に在す神の岩

西宮市 平田 あい

〈評〉神のよりしろとして古代からあがめられた岩が海原に立つ。秋潮の広がり爽快かた。鯨釣や上げ潮狙ふ橋の上

北九州市 土居 康二

アッシジの聖者の祈り小鳥来る

さぬき市 景山 典子

浅草の屋台に済ます月見かな

東京 徳原 伸吉

豊年や全力で泣く赤ん坊

松江市 玄田 梵

透析の窓なき部屋に秋来る

大阪市 樽木 厚

黒板の消し残りあり秋夕焼

東京 吉野かおる

そぞろ寒カップラーメン選ひ居り

塩釜市 高橋 永喜

秋蟬や山懐の学問所

赤磐市 津田 卿雲

晩秋の松山へ 高田正子

季語の出会い

10月の末、高齢者のスポーツと文化の祭典「第35回全国健康福祉祭(ねんりんピック)えひめ大会」が松山市で開催された。多彩なイベントが行われたが、文化種目に俳句交流大会もあり、私は選者として参加することになったのだ。初めて松山を訪れたのは20代のころ。2度目はそれからさつと40年を経た2020年の1月。新型コロナが猛威を奮い出す直前だった。そして昨年から俳句甲子園の審査員長(計13人)の一員として8月に。今年は更に10月にもやって来た次第。すでに実家を仕舞い、帰省しなくなった身としては、交通機関を乗り継いでたびたび通う松山に、何か不思議な情が湧いてきている。市内の宝蔵寺にはとき師の句碑がある。・稲光一遍上人徒既

黒田杏子 大会が始まる前に立ち寄ると、朝の動行のさなかつた。句碑は本堂の脇にある。伊予の書石だろうか。荒々しい肌合のままだ、直筆の文字が黒く刻まれている。お久しぶりですと真向かうと、とうしたわけが句碑が泣いているように見えてうろたえた。朝日が至る前だったからかもしれない。以前に来たときは午後の日差しにりんと立っていたから。だが、改めて先生の不在に胸を突かれることになったのだ。・冷まじや遊行の寺に杏子の碑 愛媛県 楠本たけし 大会の正賞にいたいた句である。「冷まじ」という晩秋の季語を、これほど身にしみて感じたことはない。(たかた・まさこ「俳人